

第25回
外国人による
日本語スピーチコンテスト

2016年2月6日（土）午後1:00～4:30
ところ／県民文化センター小ホール
主 催／公益財団法人茨城県国際交流協会
共 催／茨城県

*茨城県知事賞

アヌグラ ビンタン フェビリアネ (インドネシア出身)

「ビネカ ツンガル イカ」

皆さん、外国人留学生が日本へやってくる理由は何でしょうか。「アニメが好き」、「日本語が上手になりたい」などとよく聞きます。前は私もそうでした。しかし、日本に留学して、その価値観が大きく変わりました。

インドネシアは多民族、多文化の国です。約 1,100 の民族が住んでいて、600 の言語が話されています。5つの宗教があって、人によって信じる宗教が違います。そんないろいろな文化や言葉を持つ人々をつないでいるのは何でしょうか？それが「ビネカ ツンガル イカ」、「多様性の中の統一」の精神です。たくさんの文化は一つの国を創るときに大きな壁になります。しかし、インドネシアはその壁を乗り越えて多文化の国を創ってきました。だからたくさんの言語や文化を持つことは私たちの大きな誇りです。

私は日本文化が大好きで、日本へ留学するのが夢でした。何度も試験を受けてやっと茨城大学に来ることができました。大学では、日本人だけでなく、世界の様々な国の留学生と楽しく交流しています。しかし、日本人との交流の中で、寂しく思うことがよくあります。

日本人の学生たちが関心を持っている国はとても少ないからです。

「出身はどちらですか？」「アメリカです。」「わ～、カッコイイ！」、「スゴ～イ！」そんな時、日本人の学生たちは、わくわくした表情です。いっぽう、インドネシアに対しては、「あっ、インドってカレーを食べる国だよね？」・・・「あれっ、インドネシアってどこにあったっけ？」「日本人は新婚旅行でよくバリに来ますよ」「え～？バリとインドネシアとどういう関係？」「はあ？バリはインドネシアの島ですよ。」「あ～、バリは国じゃないんだ。知らなかった！」。と、ほとんど興味が無くて、誤解だらけです。あ～、そんなに関心がないんだ・・・と分かるたびに、とてもがっかりします。

先日、小学校に行って、インドネシアの色々な食べ物や、民族衣装などを紹介しました。「子供たちは関心を持ってくれるかな～」と心配でした。その日私は、インドネシアの色々な食べ物や民族の衣装などを紹介しました。そんなに違う文化がたくさんあるのに、どうして一つの国なのか？子供たちはよく理解できないようでした。最後に、私は日本にはない遊びを紹介しました。説明を始めると、子供たちは「やったことがないよー！」、「絶対無理、無理！」、「恥ずかしい！」と言いました。でも実際にやってみ

たら、「面白い!」、「楽しいね!」と盛り上がり、クラスの皆が一つになりました。子供たちとの交流から「ビネカツンガルイカ」が少し伝わったかなと嬉しかったです。

小学校の体験から、とても大事なことに気が付きました。それは、グローバルな時代に生きるために、私たちは、自分の国にないところをお互いに<学び合うことが大切だ>ということです。

私は日本の文化に憧れて、「時間を守ること」「気配り」「勤勉に働くこと」などたくさんのお話を学びました。

しかし、日本に留学してみると、日本は多様性を認めることにとても消極的だと気が付いて、悩みました。でも、留学でできることは、私が学ぶことだけではなく、私から伝えることも大事だと子供たちから学びました。

グローバル化が進めば、日本も必ず、もっと多くの民族や文化が生きる国になります。日本が世界の国と共に生きるために、日本のみなさんも、もっと多くの文化に関心を持ったらいいな、と思います。2020年の東京オリンピックに日本は世界中からお客さんを迎えます。

みなさん、世界のみんなの心を一つにするために「ビネカツンガルイカ」のことをもっと話してみませんか？

有難うございました。